

赤川浩爾先生の足跡

1. 略歴

1925年1月9日 広島県に生まれる
1941年3月31日 大阪府立北野中学校修了
1943年9月30日 広島高等学校理科甲類卒業
1946年9月30日 京都帝国大学工学部応用物理工学科卒業
1946年9月30日 神戸経済大学文部教官
(附属経営学専門部)
1950年4月1日 神戸大学助手(工学部)
1952年8月1日 神戸大学助教授(工学部)
1958年4月15日 工学博士(京都大学)
1958年7月1日 神戸大学教授(工学部)
1988年3月31日 神戸大学定年退職
1988年4月1日 神戸大学名誉教授
1988年4月1日 龍谷大学教授(理工学部)
1995年3月31日 龍谷大学退職
2015年12月8日 死亡(肺炎のため)

2. 併任官職及び主な学内各種委員

神戸大学評議員(1969年7月1日～
1973年5月31日)
神戸大学大学院問題検討委員会委員
(1977年6月1日～1979年5月31日)
神戸大学大学院自然科学研究科長
(1983年4月1日～1985年3月31日)

3. 学界における活動

日本機械学会(本部評議員14年間、関西支部幹事4年間、関西支部商議員15年間、関西支部副支部長1年間)
二相流のダイナミックスに関する研究分科会
(主査2年間)
気液二相流に関する研究懇話会(代表10年間)
International Journal of Multiphase Flow
(Editorial Board 22年間)
気液二相流に関する調査研究分科会(主査4年間)
日本舶用機関学会(評議員11年間、監事1年間)
ボイラ研究委員会(委員長2年間)
日本学術会議水力学水理学研究連絡委員会付
置混相流小委員会(委員長5年間)
エネルギー・資源研究会(理事10年間、編集
実行副委員長3年間、編集実行委員8年間、

企画編集委員6年間)

日本混相流学会(会長2年間)
日本伝熱研究会(幹事4年間)
流れの可視化学会(評議員1年間)

4. 社会における活動

通産省化学保安調査指導委員会委員(1974年
2月～1974年3月)
技術科学大学院の教育課程・施設等に関する
調査研究(1975年4月～1976年3月)
日本原子力研究所 ROSA 研究委員会専門委員
(1975年10月～1977年3月)
中小企業エネルギー使用合理化診断委員
(1978年10月～)
兵庫県警察本部科学捜査研究所顧問(1965年
7月～1985年3月)
科学技術庁大型再冠水効果実証試験評価委員
会委員(1983年12月～1984年12月)
災害科学研究所所員(1984年4月～1986年3
月、1987年4月～1988年3月)
兵庫工業会学術委員(1986年9月～1988年3
月)
兵庫県防災救急用ヘリコプターの運用に関する
調査研究所専門委員(1987年10月～1987
年12月)
日本原子力研究所研究嘱託(1987年4月～1993
年3月)

5. 受賞

1972年4月1日 日本機械学会論文賞
1972年11月20日 近畿熱管理協会感謝状
1975年10月20日 兵庫県知事感謝状
1975年11月18日 通商産業省資源エネルギー
庁長官賞
1977年10月8日 日本機械学会功労表彰
1979年5月23日 日本舶用機関学会奨励賞
1982年7月2日 兵庫県警察本部感謝状
1984年11月3日 兵庫県科学賞
1985年3月19日 日本機械学会関西支部
功労者表彰
1987年4月2日 日本機械学会表彰状
2004年4月29日 瑞宝中綬章
2015年12月8日 贈正四位